

がいこくじん

外国人のためのくらしと文化の情報誌

ぶんか

じょうほうし

kokoka

Life In Kyoto

あきごう

2022 秋号

もくじ

わたし す きょうと
01 私の好きな京都

ぎんこう こうざ かいせつ
02 銀行口座の開設について

きょうとはつ いぬにんげん
03 京都発のロックバンド「犬人間ニョonz」

きょうと まな
04 京都で学べば

きょうとせんたんかがくだいがく
(1) 京都先端科学大学

きもの
05 着物をきてみませんか

06 kokoPlaza Letter

07 kokokaオープンデイのお知らせ

がいこくじん

外国人のための情報誌「Life In Kyoto」でPRしませんか？

じょうほうし

こうこくぼしゅうちゅう

広告募集中!!

わく

えん

1 枠 10,000 円～

☎ 075-752-3511 ☒ office@kcif.or.jp

01 私の好きな京都

伝統を守る祇園祭

余 楊鴻 (中華人民共和国)

3年前の祇園祭、後祭山鉦巡行の最後に、日が暮れかけて、吹いた風もだんだん涼しくなって、一日中鉦や山を引いて大変疲れた曳き手が道端で並んで座って休憩しながら、私たち観客と一緒に、誰かの挨拶を聞いていました。

その時、みんなが道に集まり、共にこの祭を完成したような感じで、ちらりと千年前の様子を見た気になりました。祇園祭に参加する人は、曳き手だけでなく、観客も、伝統を守っている人も、共にこの祭の主役だと思われました。

私は京大で数学を専攻する為に中国の南京から京都に来て、もう4年になります。このような伝統を守っている瞬間はいつもあって、感動しています。この伝統に繋ぐ態度が好きです。京都の街で歩いていたときに、昔のお寺を見て、母国の中国の歴史に入った感じが時々あって、懐かしかったです。京都では、お寺、神社など古跡を保存するだけでなく、さまざまな祭も行われていて、日常生活に伝統的な着物を着ている人々も少なくないです。京都の人々は、西洋の生活方式と伝統文化を調和させて、伝統を守りつつモダンな生活を送っています。特に、四条から新京極通りを上がると、周りの店舗は、現代化と日本の伝統的な美意識の間に絶妙なバランスをとって、飾っています。

グローバル化した現在は、各国の人の交流は便利になって、生活がだんだん同じになり、知らないうちに、各国は固有の文化を失ってしまうという恐れがあるでしょう。自分が持っている古いものを新しいものに変えたいことは、個人のレベルでもよく起きて、欧米の科学に対して、どのように伝統を守りながら新しい文化を受け入れるかは、共同体にとりなおさら難しい問題になるでしょう。

「私の祖父も、父も、祇園祭に参加しました…」あの挨拶した人は、このように言いました。速く変わっている時代の中に、何か不変なものはより重要になるでしょう。このような不変なものを考えると、私は何かに守られるという安心感が得られています。京都のみんながきちんと伝統を受けついで、未来に向く勇気につながると思います。



02 銀行口座の開設について

ふじわら れいこ
藤原 玲子

日本である程度長く暮らすには、銀行口座があればとても便利です。ここでは、日本で一般的な口座開設について紹介します。銀行には、日本語ができる人と一緒にいくと手続きがスムーズです。

口座開設の条件：日本での3か月以上の在留期間が必要です。

基本的に、次の3種類の書類を銀行の窓口を持って行き、申し込みフォームに記入すれば、手続きができます。

①在留カード

②身分証明書*（留学生の場合は学生証、技能実習生などとして働く場合は、社員証や会社が発行する労働条件通知書です）

*名前のつづりや漢字などの確認のため、パスポート

トも必要な場合があります。

③健康保険証などの公的書類

その他、次のことについて確認してください。

・銀行によって口座名義人本人の印鑑が必要な場合があります。

・海外からの送金を受け取るには、マイナンバーカードが必要な場合があります。

ゆうちょ銀行などのようにオンラインで口座開設ができる銀行もありますが、詳しいことは各銀行の窓口やウェブサイトを確認してください。

・一般的に、日本入国後6か月未満の間は、非居住者としての口座が作成できますが、日本での暮らし始めて6か月過ぎたらに再び銀行で通常口座に変更する手続きを行いましょう。

03 京都発のロックバンド「犬人間ニョonz」

すずき ひでとし
鈴木 秀利

皆さんは、ロックを聴くのは好きですか。日本には多くのロックバンドがあって、京都を拠点に活動しているバンドもあります。その中には、京都の音楽界を盛り上げようと自分たちで音楽イベントを開催しているバンドもあります。その例として、毎年京都で「サムライロックフェス」を主催している「犬人間ニョonz」を紹介します。

犬人間ニョonzは2013年に結成された4人組のバンドです。拠点は京都ですが、京都だけでなく全国でライブを行っています。今回、犬人間ニョonzのライブに行ってメンバーの皆さんにお話をお聞きしました。

まず、普段の活動について聞くと、ライブが中心で毎年100回ぐらいライブをするとのこと。ライブに来るお客さんは若い人だけでなく40歳以上の人も多いそうです。そして、「私たちは大手のバンドじゃないので、私たちもお客さんのことをよく知っています。みんな素敵な人たちです」とも話していました。

また、将来の夢を聞くと「ずっとバンドを続けていきたいです。聴きに来てくれるお客さんがいなければ続けることは難しいので、ずっとお客さんに来てもらえるようなバンドでありたい」とのことでした。そし

て、外国人の皆さんには「外国人は歌詞の意味が分からないかもしれませんが、でも、音楽は歌詞の意味が分からなくても楽しめると思います」と話していました。

さて、ライブの様子ですが、犬人間ニョonzの演奏は力強く、お客さんも曲に合わせて拳を振り上げたりしてライブを盛り上げていました。お客さんの中には関東から来た人もいて「4人がそれぞれ魅力的で、何回もライブに来ている」と話していました。

ところで、冒頭の「サムライロックフェス」ですが、このイベントは、自分たちで京都の音楽界を面白くしたい、普段ライブに行かない人たちにもライブに来てほしいと思って開催しているとのこと。京都には他にも多くのロックバンドがあるので、いろいろと聴いてみるのもいいですね。



04 京都で学べば (1) 京都先端科学大学

石原 啓子

マルハリータ・ニクリナさんは18歳。ウクライナ東部ドンバス地方のルガンスク出身です。京都先端科学大学で学ぶため、6月に来日し、同大学の国際学生寮に入りました。ちなみに、彼女は先端大が「ウクライナ学生支援」で受け入れる4年間の工学部学生22名の一人です。

今は*日本語の勉強に日がな一日取り組んでいます。「山に囲まれた京都の町はとてもリラックスできるし、町の人たちは親切で、ていねいに接してくれる。でも、なれない気候にくわえて、ヨーロッパとアジアの文化の大きな違いが、私には大きな問題です」。

*2022年7月末現在

とは言え、この大学の工学部の半数は留学生です。「これからいろんな国の人たちと出会って、それぞれの国の習慣や文化を知ってゆきたい。また、日本のあちこちを旅行して、日本を目いっぱい探検したい」とのことでした。

5年後にどうなっていたいか、という問いには次のような切実な言葉が返ってきて、深く考えさせられました。

「ウクライナの状況を考えると、回答はとても難しい。だから、今は自分の人生を生きて、小さなひとときを楽しもうとしています」。

先端大は人文学部に子供同行のウクライナ研究生1名も受け入れています。授業料と寮費、日本への渡航費を引き受け、生活費、生活物資を支援するなど、計23名の学生たちの全面的な支援を4年間にわたって続けます。なかなか大変でしょう。「受け入れはウクライナ復興支援であるばかりでなく、世界と日本の未来社会を支える人材の育成でもあるのです」と担当者は力をこめて語りました。

三浦瑛馬さんは東京都の出身。20歳。工学部の3年生です。授業は朝から夕方17時半まで。その後、吹奏部の部活やバイトなどで20時から22時ごろに帰宅。課題に取りかかり、終われば24時過ぎという毎日です。「忙しいけれど、充実している」と言います。

工学部の授業は英語で行われるので、その面の難しさもあるかと思われそうですが、彼はこう答えました。

「いろんな国の留学生に混ざって勉強して思うのは、みんな同じだということ。解けない問題があれば一緒に悩み、できたら一緒に喜ぶ。喜びや笑いを共有してゆくうちに、言葉の壁はなくなっていきました」。

そして、5年後には「世界中の人々と、今まで誰も取り組んでいなかったことに夢中になって挑戦したい」と答えました。

国際学生寮



05 きもの 着物をきてみませんか

いけみやぎ やすこ
池宮城 安子

こと きょうと きもの さんぽ にほんの
古都、京都で着物をきて散歩をすることは、日本の
じょせい あこが ひと きもの
女性の憧れです。たくさんの方が着物をきて、インス
タ映えを楽しんでいます。なかにはがいこく ひと すがた
タ映えを楽しんでいます。なかには外国の人たちの姿
もあります。

にほんじん いま かんたん きもの
日本人は今では簡単なのがいちばんとばかり、着物
をうわぎとスカートのようにツーピースにして、それに
つく おび ひと きじ ようふく
作り帯をする人もいます。生地も洋服のデニムのよう
にデニム地をつかった着やすいデニム着物やまた洗え
る着物というせんたくきであら きもの おお
る着物という洗濯機で洗える着物も多くあります。

きょうとしこくさいこうりゅうかいかん きものきょうしつ たず
京都市国際交流会館の着物教室を訪ねました。ヨー
ロッパの女性たちが帯結びを習っているところでした。
こうし とう おび おび むす いちどむす
た。講師がする通りていねいに帯を結んでもう一度結
んで、と繰り返して、できあがりました。

つく おび かんたん き
「作り帯をつければ簡単なのになぜ？」と聞くと、「ほ
んらいの着かたを習う方が日本の伝統に触れるような

かん
感じがするから」とのことでした。

き とう こうりゅう ふか
着つけを通して交流が深まり、いっしょに着物で出
かけたりまた母国にかえってからメールや写真の
こうかん
交換がつづいているそうです。

まだきものをきたことがない人はレンタル着物からは
じめて、てがる ゆかたなどをきて着物になじんでいっ
てはいかがでしょうか。



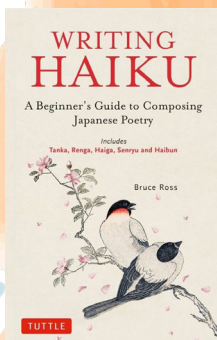
きょうとしこくさいこうりゅうかいかん
京都市国際交流会館にて



06 kokoPlaza Letter

Writing Haiku : A Beginner's Guide to Composing Japanese Poetry

by Bruce Ross, Tokyo, TUTTLE, 2022 Language: English



スマホ (スマートフォン)、マクド (マクドナルド)、なるはや (なるべく早く)
など、とにかくなんでも短く言いたがる日本人。なるべく少ない文字で、短く、
シンプルに伝えたいという日本語の傾向は、もしかしたら俳句からきているの
かもしれません。わずか17文字の短い文章の中に、季節の美しさや、読み手の
きもちなどたくさんのメッセージが込められています。この本は、そんな俳句の
みじか い にほんじん すく もじ みじか
魅力や作り方を英語でやさしく解説しています。日本語が分からなくてもまずは
英語で、日々の感動や心に浮かんだ気持ちを表す俳句を作ってみませんか？

kokoka 2階にあるブックスペース「kokoPlaza (ココプラザ)」に
は、日本や外国の文化を紹介した本や、日本の生活 (法律、ビザ、
きょういく こそだ ぼうさい し ほん にほんごがくしゅう
教育、子育て、防災など) について知る本、日本語学習のための
ほん
本などがあります。ぜひ利用してくださいね！

【開室】 9:30 ~ 17:00

【閉室】 月曜日、月末最終開館日、
ねんまつねんし
年末年始

【TEL】 075-752-1187

【FAX】 075-752-3510

※本の貸し出しはしていません。

07 kokoka オープンデイのお知らせ

かわさき まさし
川崎 雅司

たくさんの人と会える kokoka オープンデイが、今年も開かれます。

音楽・ダンスのステージや、外国料理の屋台が楽しめます。世界の民族衣装を着る体験ができます。

LifeInKyoto は「kokoka プレイグラウンドへようこそ！」という催しに参加します。紙芝居と紹介ビデオや展示を用意しています。1階のイベントホールで、他の kokoka のボランティアさんといっしょに遊びましょう。

今年のオープンデイはその他に、ウクライナの人たちによる「ウクライナに平和を！」という催しがあります。ワークショップや簡単なウクライナ語講座などでウクライナってどんなところかを知ってもらおうと

いう催しです。新型コロナにかからないように、いろいろ工夫して皆さんを待っています。ぜひ、オープンデイに来てください。

日時：11月3日(木・祝) 10:00～16:00

会場：kokoka 京都市国際交流会館

(地下鉄東西線「蹴上」駅下車 徒歩6分)



詳しい情報は
こちらの QR
コードから
ご覧ください

「広告」

京都中央信用金庫

留学生ジョブ博
International Students
Job Expo
2022
10.13 Thu
ONLINE
11:00 ▶ 16:20

10.15 Sat
対面式
10:30 ▶ 15:00
[会場] 京都産業会館ホール 全室

20社以上出展

対象
2023年卒予定の留学生、2024年卒以降の留学生

Aim for a
career
in Kyoto!

check here

京都ジョブパーク
京の留学生支援センター
TEL.075-682-8916
月曜日～金曜日 9時～19時 / 土曜日 9時～17時
※日曜・祝日は休館しております。

イベント詳細・
予約はこちら

外国人のための暮らしと文化の情報誌 2022 年 秋号

(公財) 京都市国際交流協会

TEL: 075-752-3511 FAX: 075-752-3510

E-mail: office@kcif.or.jp

〒606-8536

京都市左京区粟田口鳥居町 2-1

地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より徒歩6分

開館時間: 9:00 - 21:00 休館日: 月曜日

(月曜日が祝日の場合、その翌日の平日)

<https://www.kcif.or.jp/web/jp/publications/#lifeinkyoto>



オンラインでも読むことができます。

バックナンバーも公開中です。

LIK 編集ボランティア

石原 詩恵奈 / 石原 啓子 / 生田 稔 / 池宮城 安子

岡本 圭介 / 金谷 千菜美 / 川崎 雅司 / 古園 美樹

小谷 仁美 / 佐藤 未奈 / 澤田 淳美 / 周 慧華

鈴木 秀利 / 西木 美恵 / 藤田 リサ / 藤原 玲子

古田 富好 / 町野 陽一 / 松尾 有希也 / 水野 裕司

八木 俊幸 / 湯澤 公朗 / YU YANGHONG

LIN HSIU FENG / 横田 花音 / 市宮 景子